

健康長寿に係る先進的な取組事例(概要版)

骨元気アップ(ロコモティブシンドローム対策)事業

運動

食

団地まるごと

その他

事業概要

ロコモティブシンドローム対策として、40歳以上の町民を対象とし、骨密度測定を行う。

測定結果で、指導が必要な方には、7月から「骨元気アップ教室」を月1回実施し、町民の健康増進に努める。

事業内容(参加者数・予算等)

- 参加者数・予算
998人、279千円
- 骨密度測定(6月)
集団健診(特定健診及び各種がん検診)と併せて実施
検査後に、体力測定(無料)も併せて実施
- 記録の分析(7月)、事後指導(7月～3月)
町内にある武蔵丘短期大学に検査及び集計を依頼し、要指導対象者に対しては毎月1回の教室を開催し、指導・助言を実施

事業効果

- これまでは、健康増進法に基づく対象者(40歳から70歳までの5歳刻みの女性)から対象者を拡大することで、各年代及び男女別による状況把握が出来た
- 要指導対象者へ早期指導・助言を行えたことにより、今後のロコモティブシンドローム対策に役立てることが出来た

その他

- 骨密度測定の受診者は女性が多いため、男性の受診者を増やすことや若い世代(40代)の受診者を増やせるような取り組みが必要